

《共通基礎科目 教養教育科目》

科目名	日本国憲法				
担当者氏名	中村 清一				
授業方法	講義	単位・必修	2単位・必修	開講年次・開講期	1年・秋期

《授業の概要》

講義は講義形式とともに、演習、レポート、発表、意見交換等を取り入れる。

講義内容は憲法概論に属する内容と憲法成立に関する内容、国民主権と象徴天皇制、平和主義、基本的人権、統治機構を取り扱う。また事例や判例では、できるだけ教育に関わる内容を取り扱うこととする。

《授業の到達目標》

憲法が国の在り方を決めた基本法であることを理解させることを到達目標としつつ、国民主権主義の意味や憲法で保障されている人権とはどのようなものなのか、国の政治制度はどのように組み立てられているのか等を具体的に考察させる。その際、教育職員としての自覚と資質の保持と向上を求められていることにも留意させる。

《成績評価の方法》

受講態度10%、レポート20%、テスト70%で総合評価します。

《テキスト》

教科書：「スタート憲法」吉田仁美 編著 成文堂  
その他、必要に応じ資料を配布します。

《参考図書》

三省堂「日本国憲法資料集」

《授業時間外学習》

憲法条文演習  
教科書における授業テーマの関連ページ講読

《備考》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	ガイダンス・概説	講義の内容・進め方、成績評価方法、受講の際の注意点等 特に、憲法とはどのような法であるかについての理解について重点を置く。
2	憲法の制定	日本国憲法の成立と基本原理 憲法の改正 明治憲法と日本国憲法の相違点等 日本国憲法の成立過程ではDVD資料を視聴する。
3	国民主権と象徴天皇制	国民主権と象徴天皇制 象徴である意味 元首と天皇 天皇の国事行為 憲法改正等 特に、国民主権下の天皇制について考察する。
4	平和主義	戦争放棄の意味と国際社会と日本の平和主義等 他国と比較して日本の平和主義の特徴、憲法第9条の解釈とその変遷も扱う。
5	基本的人権 1 人権総論	基本的人権の種類 個人の尊重 公共の福祉等 人権保障の対象 特に公務員の人権 第10章最高法規についても扱う。
6	基本的人権 2 平等権	個人の平等 男女の本質的平等 形式的平等と実質的平等等 夫婦別姓問題やLGBTの存在についてグループ討議を行う。
7	基本的人権 3 自由権	思想信条の自由 信教の自由 表現の自由 経済活動の自由等 学校にかかわる問題を重点的に取り扱う。
8	基本的人権 4 人身の自由等	法定手続きの保障 国務請求権等 死刑は残虐な刑罰にあたるか否かについてのディベートを行う。
9	基本的人権 5 社会権	生存権 教育を受ける権利 労働権 社会保障の概要等 教育権をめぐる考え方に留意させる。
10	基本的人権 6 新しい人権	環境権 プライバシーの権利 知る権利等 新しい人権の法的根拠を考えさせる。
11	参政権と国民の義務	参政権 選挙権 三大義務等 さまざまな参政権の様態 選挙権の拡大 衆参両議院の選挙制度にも触れる。
12	国会	国会の果たす役割と地位と構成 国会の活動 国会議員の特権等 三権の相互の抑制と均衡の関係や衆参両院の権能の違いに留意させる。DVD資料視聴
13	内閣	内閣と行政権 議院内閣制 内閣の組織・構成 内閣の連帯責任等 内閣総理大臣と内閣の権能の違い、内閣の一体性について留意させる。 DVD資料視聴
14	裁判所	司法権 裁判所の組織と機能 司法権独立 違憲立法審査権 裁判員制度等 司法権の独立と裁判官の独立、裁判員制度の理解に重点を置く。DVD資料視聴
15	財政と地方自治	財政 地方自治の本旨 住民自治 団体自治 地方自治特別法 直接請求権等 民主主義と地方自治は大きな関連を持つことを理解させる。 DVD資料視聴